

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館（さよう文化情報センター内）
〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp

Book Review

図書館司書おすすめの一冊



『古本屋は奇談蒐集家』

ユン・ソングン／著、清水 博之／訳
(河出書房新社) 2023年

本書は、韓国の古本屋の店主が、絶版本や古い本を探す手数料として、求めている本にまつわる物語、探している理由を聞き集めたノンフィクションである。

お客のJさんが求めていたものは、亡くなった奥さんと結婚する縁となった本だった。奥さんとのお見合いで話題に困ると相談した友人に本を薦められるも、読むのが苦手で当時は読めなかった。お見合いの日を思い出すその本を探してほしいという。それは多くの人が手に取った大衆小説だったが、Jさんが完読するまでには40年が必要で、そんな読書体験も悪くないだろうと著者はいう。またKさんは、本の題名も出版社も分からないが、亡くなった父親から子どものころにもらい、少しめくっただけで本棚にしまった本を探してほしいという。事情を聞くうちに、舞台が農場で、ヤンという登場人物だったと手がかりが見つかる。時計屋で絶版本を蒐集している知人に話すと、ヤンは人間の名前とは限らない可能性があるのではないかと、国ごとによく使う名前があるため出版した国が特定できるのではと捜査し、約2年後にKさんに渡すこととなる。

古本屋に本を探しに来る人は、同じタイトルでも決まった出版年、文庫本でと求める理由が一人一人にあり、その思いを聞き、店主が何年かけても本を探しだす様子に引き込まれていく。様々な作品が出てくるが、知らない作品でも分かりやすく紹介されており、本を探すなかで描かれる韓国の情景も興味深く感じる一冊。(馬場)

お知らせ

◆大人のためのおはなし会
日時：7/8日(土) 15:00～
内容：図書館職員によるおはなし会

◆間伐材について知ろう！
日時：7/30日(日) 13:30～
定員：15組
内容：佐用町の間伐材のお話
間伐材を使った工作
参加費：工作代1,000円



◆紙であそぼう！
日時：8/6日(日) 14:00～
対象：小学生(保護者同伴可)
定員：15人(要申込・先着順)
内容：紙の形をかえてあそびます
参加費：実費

7月 文月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 ○
2 ●	3	4	5	6 ■	7	8 ○◆
9 ●	10	11	12	13	14	15 ○
16 ●	17	18	19	20	21	22 ○
23 ●	24	25	26	27	28	29 ○
30 ●◆	31					

○印・・・おはなし会（あそばせ隊） 14:00～
●印・・・おはなし会（図書館職員） 10:30・11:00
■印・・・わらべうたとえほんの会 10:30～

8月 葉月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6 ◆	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※館内整理日による休館

8月 1日(火)

※祝日による休館

8月 11日(金)

■色の日は休館日です。
開館時間／午前10時から午後6時

◆印・・・各種講座・教室

『せかいいちおいしいスープ』

マーシャ・ブラウン／文・絵
こみや ゆう／訳
(岩波書店) 2010年



戦争が終わり、ふるさとへ帰る途中のはらぺこの三人の兵隊が村のあかりをみつけ、食べ物や寝床にありつけるかもしれないと村を

目指しました。兵隊たちをみていた村の男は、食料をとられては大変と先回りして村びとに知らせます。村びとたちは、いそいで食料をかくし、兵隊たちが訪ねてくると「今年は何の作物も不作でね」と自分たちも腹がへって困っていました。そこで、兵隊たちは相談して、石のスープを作るといって、石でスープができるならみておかないと損だと村びとたちが集まってきました。煮立った鍋に石を入れ、かきまぜながら兵隊が「塩とこしょうはかかせません」といって、子どもたちは家に取りに帰りました。続けて「にんじんやキャベツ、牛肉などを入れればおいしいくなるんだがな」といって村びとたちは、ひとつづらならあるだろうと次から次へとかくしておいた食料を運び出し、ついには豪華なスープができあがりました。

朱色を基調に茶の濃淡のやわらかな線で村びとや兵隊の表情が生き生きと描かれています。村びとがいそいそと食料を運び、兵隊たちと協力してスープを作りえんかいをする様子が愉しげで満たされた気持ちになります。(水鳥)

『くまのパディントン』

マイケル・ボンド／作、ペギー・フォートナム／画
松岡 享子／訳
(福音館書店) 1967年



ある夏の日、ブラウン夫妻は、娘のジュディを迎えに行ったパディントン駅で一匹のクマを見つけました。奇妙な帽子をかぶったそのクマは、「どうぞ、このくまのめんどうをみてやって

ください。おたのみします。」と書かれた札を首にかけ、古ぼけたスーツケースに腰かけていました。ブラウン夫妻は、ペルーから密航してきたと言うそのクマをパディントンと名付け、一緒に暮らすことにしました。

好奇心旺盛でマーマレードが大好きなパディントンは、食堂でお茶とお菓子をごちそうしてもらっていると、夢中になるあまり体中クリームとジャムでベトベトにしてしまい、足をすべらせ、お茶のお皿にしりもちを、コップの中に足を突っ込んでしまいました。また、買い物に出かけたデパートでは、ショーウィンドウに迷い込み、展示品をめちゃくちゃにしてしまったり、芝居見物に行けば、劇中の女の子がいじめられていると思い抗議したりしました。行く先々でいろいろなことに首を突っ込んで、いつも大騒ぎになるパディントンですが、思わずお客を呼び込み喜ばれたり、公演が大成功に終わり感謝されたりします。

無邪気で正義感あふれるパディントンの憎めない様子がユーモラスに描かれ、読む者を惹きつけてやみません。パディントンシリーズの1巻目。(蔭木)

information

播磨科学公園都市圏域定住自立圏連携事業

とても便利な『電子図書館』

インターネット経由で電子書籍を読むことができる便利な機能です。ぜひご利用ください。

□24時間、いつでもどこでも利用OK！

□聞いて楽しむ、音声読み上げ機能もあります

□スマートフォンでの利用で携帯性を生かし旅ガイドも可能

□新着タイトルが毎月追加され、多分野の本を多数所蔵

※利用開始には申し込みが必要ですので、図書館へお問い合わせください。

実施主体：佐用町・たつの市・宍粟市・上郡町の各図書館

●あそばせ隊 おはなし会

毎週土曜日／14:00～14:30

幼児・小学生対象

●図書館 おはなし会 毎週日曜日

○小さい人(5歳以上)／10:30～11:00

7月のおはなし「ねずみじょうど」

○大きい人(小学3年生以上)／11:00～11:30

7月のおはなし「小さなオンドリとタイヤのボタン」

★ 静かにおはなしを聞きましょう ★

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要

おはなし会

